



丹波地域ビジョン委員会情報誌

# うりぼうニュース

第24号  
平成26年10月発行

「うりぼうニュース」の「うりぼう」とは、「イノシシの子ども」のことで、丹波地域がイメージでき、これからの成長を願えるようにと命名しています。

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原688 TEL(0795)72-0500(内217) FAX(0795)72-3013

第7期

## 丹波地域ビジョン委員会 スタート!



4月26日(土)丹波市柏原町の丹波の森公苑で第7期丹波地域ビジョン委員会総会を開催しました。総会では、89名のビジョン委員が藤原丹波県民局長から委嘱状を受け取り、活動をスタートさせました。

丹波地域ビジョンで提示した5つの将来像である「自立」「交流」「元気」「絆」「安全安心」の実現に向け、「自立」は「たんばなう」、「交流」は「里山deふれあい」、「元気」は「たんば菜響グルメ」のそれぞれ1グループ、「絆」は「高齢者の生きがいづくり」「青少年グループきずな」「夢ジョッキー」の3グループ、「安全安心」は「さるが出た!!」「男女共同参画」の2グループが誕生し、これら8つのグループが連携しながら様々な活動を展開してまいります。

# 第7期 丹波地域ビジョン委員会は、

## グループたんばなう

グループでは毎月定期的にグループ会議を開き7チームを発足させました。共通の課題は、前期に引き続き、地域で見過ごされたものや過小評価されてきた資源の再発掘を通じてオリジナルな商品を試作することです。商品開発のチームは、ゆずこしょう、マコモ茶、赤米、ゴムそば、親鶏活用などが活動中で、WEBチームと販売チームがサポートする仕組みです。原料にも季節性があるので、今のところゆずチームが先行していますが、みよりの秋を迎えて各チームとも商品開発の準備に忙しくしています。11月3日の丹波GOGOフェスタ2014に出店し、試作品販売を通じて消費者の意見を聞く予定です。



ゆずこしょうの試作



篠山市大山地区の里山視察

## 里山deふれあいグループ

“交流のたんば”として、6期では「里山の魅力発信」と「都市交流」の2つのグループが活動しました。この成果をいかに引き継ぐか検討した結果、第7期ではグループを1つにし、都市との交流を深め更なる里山の魅力を発信していくこととしました。老若男女の楽しいメンバーが揃い、検討会を重ねるうちにユニークな活動テーマも沢山提案され今後の活動が楽しみです。活動の方向性は、6期で実践した篠山市大山地区のフィールドを活用し、地域との繋がりを更に深め、当地の魅力を引き出しながら、里山を介して田舎と都市とが結びつくイベントや活動をすすめていく予定です。

## たんば菜響グルメグループ

「たんば菜響グルメ」では、「元気」をテーマに、この2年間活動していきます。“農”を中心に最近よく耳にする“農の6次産業化”を研究・実践していき、“元気な農業”を目指したいと考えています。まず、「丹波の里塾」では、都市部の農業に興味を持っている人に農業体験を提供し、「観光としての農業」を発信していきます。更に、「丹波の里塾」の収穫祭などで、自分達の栽培した野菜で料理を作ることにより、丹波の農作物での料理提案を行い、「食グルメ」を通して丹波の食材をアピールしていきたいと考えています。



丹波の里塾での収穫作業

## 高齢者の生きがづくりグループ

グループメンバー7名は、丹波地域の高齢者の方々の健康、長寿、仕事づくりについて、いかにあるべきか、ただ今議論のまっ最中です。

とりわけ、第6期に行ってきた「インターバル速歩」等を中心に筋力、体力の向上をめざした健康づくりにより、高齢者の生きがいを見いだしていこうと張り切っています。

今年、敬老の日、全国の65歳以上の人口が3,296万人、全国民の25.9%を占めると各新聞紙上で報道されました。注目すべきは、65歳以上の就業者が41万人も増え、636万人に達し、15歳以上の就業者総数の10.1%を占めるに至ったことです。そのような元気な高齢者が増えるよう、夢を抱いて活動しています。



グループ会議の様子

# 8つのグループに分かれて活動を始めました

## 青少年グループ きずな

「青少年グループきずな」では、不登校、ひきこもりの当事者や家族を地域で支えるネットワークづくりをすすめます。

主な事業内容として、

- ・不登校、ひきこもりの子ども、若者の居場所づくり
- ・丹波市春日町に開設している「居場所 TAMARIBA」や篠山市でひきこもり支援のNPOが運営している「遊び村」の活動やイベント等への参画
- ・不登校、ひきこもり講演会、学習会、交流会の実施等を行っています。



ひきこもり講演会への参画



地域で伝える夢授業

## 夢ジョッキーグループ

私たちは、時間の流れは馬に乗っているかのように勝手に進むけれど、目の前にタズナがあると気づいた時から自分の意思で選んで未来を作っていくのだということを、たくさんの人に届けたいという思いで活動しているグループです。9月には丹波市内の高校に出向き、夢授業を行いました。夢ジョッキーの名前のおり自分の人生を操っている自覚を持てば夢は必ずかなうということ、グループのメンバーと丹波市在住の20～30代の大人が、自分たちの高校や社会人になってからの体験をもとに語りました。今後、このような活動を丹波地域全体に広げたいと考えています。

## グループさるが出た!!

「グループさるが出た!!」は、防災と防犯についての啓発活動を行っています。

できるだけ具体的なものを使って啓発していこうと考え、二つの紙芝居、トラッキング現象の実演装置、大切な家を地震から守るための地震対策の模型などを使い活動しています。チラシを作り活動のPRもしています。

今期は待っているだけではなく、こちらから仕掛けていこうということで、月に一回は防災・防犯の啓発活動を行っています。さらに、今後土砂災害などの啓発活動も行っていきたいと話合っています。依頼があればどこにでも出かけていきますので、ぜひ声をおかけください。



防災フェスタへの参加



自治会での啓発活動の様子

## 男女共同参画グループ

「男女共同参画グループ」では、主に紙芝居を用いた啓発活動に取り組んでいます。「兵庫県人権教育研究大会丹波地区大会」の分科会で活動発表を行ったり、自治会のイベントや人権研修会などで紙芝居を上演しています。参加者からは、地域の実情に非常によく似た内容もあり、とてもわかりやすく参考になった等の感想をいただいています。今後の活動として、新しい題材の紙芝居をとり入れるなど地域に根付いた活動に取り組んでいきたいと考えています。

## 委員長就任あいさつ

委員長

岡田 政光

今期、第7期丹波地域ビジョン委員会の委員長を務めさせていただきます。  
3年前にビジョン委員に応募し、第6期はさるが出たグループで活動をしました。今期も改訂版「みんなで丹波の森」を基に具体的に私たち県民と行政が一体となり、この丹波地域の宝物である自然・文化・産業を守り、誰もが心豊かになれるよう各ビジョン委員で地域づくりを支えたいと思っています。

今期は「自立のたんば」「交流のたんば」「元気なたんば」「絆のたんば」「安全安心なたんば」を8グループの各委員が自分の経験やアイデアを出し合い、いまだ隠れて見えていない丹波の魅力を他の仲間と協力し探り創造していきます。

ビジョン委員だけの力では限りがあります。是非とも丹波地域の皆さんのご協力と、また同じような活動をされている方々に協働、参画をいただき、未来ある丹波を次世代に引き継ぐため精一杯頑張ります。

篠山・丹波両市の皆さん、そして県民の皆さん「第7期丹波地域ビジョン委員会」をよろしく願います。

## 副委員長就任あいさつ

副委員長

大和 隆哲

丹波地域も少子・高齢化が進み、人と人とのつながりが希薄になって来ています。私自身、これまでから、互いに心をつなぎ相手を認めあう「あいさつ」を進めるため、篠山市が市をあげて取り組んでいる「あいさつ運動」に力を入れ活動してまいりました。この活動を生かし、ビジョン委員会では、安全安心分科会のグループで、高齢者、子どもの安全安心なくらしを守るため、人と人がつながりあう面識社会を広め、住みよい丹波地域の実現に向け活動をすすめて参りたいと思います。

第7期丹波地域ビジョン委員会は、今後2年間、自立・交流・元気・絆・安全安心な丹波地域を目指し8グループが共通理解を図り課題解決に取り組んでいきますので、どうぞよろしく願います。



副委員長

足立 純子

2年前、丹波地域ビジョンが掲げる5つの柱の将来像？ビジョン？…はてさて、私の頭の中は（？）ばかりで始まったビジョン委員。「兵庫県なんて大きすぎ！丹波でも大きすぎ！どうしたらいいの？」などと自問自答しながらも、結局、楽しいグループの方々と共に活動した第6期。そんな私が副委員長！ここで再度、自問自答！「さて、私のビジョンって？実現したい姿って？ん～ぼんやりだけど…笑って暮らしたい。色んな世代、色んな考えの人たちと何かを共にやってみたいし、ずっとこの地で暮らしていきたい。丹波地域のみんなもそう思ってくれたらいいな。」そんなぼんやりしたビジョンしかない私ですが、委員の皆さんと共に、たくさん話し、たくさん考え、お互いに自問自答し、何かを見つけ出す2年間になればと思っています。どうぞよろしく願います。

ビジョン委員会のグループでは紙芝居等による啓発活動を実施しています。お気軽にお問い合わせください。

- ◆ 防災・防犯に関する紙芝居や発火装置を使った実演を出前します（グループさるが出た!!）
- ◆ 「男女で支えあう地域づくり」等を考える紙芝居を出前します（男女共同参画グループ）

無料

●丹波地域ビジョンについては、丹波県民局ホームページをご覧ください。

URL <http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tanba/vision.html>

丹波地域ビジョン委員会事務局 兵庫県丹波県民局県民交流室ビジョン課  
〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688  
TEL 0795-72-0500(内線 217) FAX 0795-72-3013

